



両津小だより

両津小学校

R 6 . 9 . 4
NO. 5

新潟県佐渡市両津湊 200-1 電話 0259-27-3642

ホームページ <http://ryoutsu-es.sado.ed.jp/> Eメール ryoutsu-es@sado.ed.jp

オリンピック効果

校長 後藤 修治

32日間の長い夏休みが終わり、元気な子どもたちの声が学校に戻ってきました。チャレンジ作品や夏休みの思い出日記を見ると、子どもたちがそれぞれに楽しく充実した夏休みを過ごしたことが分かります。

今年の夏休みは、「あつい」休みとなりました。8月に入り、梅雨が明けて「暑い」日が続いただけでなく、7月末には佐渡金山が世界文化遺産登録され、大いに盛り上がりました。観光客も増え、お祭りなどのイベントも世界遺産登録を記念して盛大に行われ、「熱い」佐渡になりました。また、パリオリンピックが開催され、連日のテレビ中継に多くの人たちが「熱い」声援を送りました。

さて、4年に一度のスポーツの祭典「オリンピック」は、とても価値ある学びの多いイベントだと思います。それは、そこで活躍する選手から元気や勇気、感動をもらえるからです。競技している場面もそうですが、競技前後の報道からその選手のこれまで努力や生き方、考え方などを学ぶこともできます。

また、子どもたちにとっては、たくさんの競技やそれに参加する選手を知ることができます。そのことで、夢やあこがれをもつことができます。

始業式の話の中で、子どもたちにオリンピックでどんな競技や選手が心に残っているか聞いてみると、「バスケット、サッカー、バレーボール、柔道・・・。」とたくさんの競技名が挙がってきました。オリンピックが子どもたちにとって、これから何かに取り組むきっかけになったり、何かをがんばる原動力になったりしてくれたらいいなと思っています。

私が印象に残っている選手の一人に、やり投げの北口榛花選手がいます。北口選手は金メダルをとったこともすばらしいのですが、私が印象に残っているのは素敵な「笑顔」です。その笑顔の秘密は、北口選手のお母さんの「笑顔でいると幸せがよってくる」という教えにあるのだそうです。笑顔は周りの人だけでなく、自分も幸せにしてくれると言われています。私は、北口選手から学んだ「笑顔」を心掛け、毎日子どもたちと接していきたいと思っています。先月28日からパリパラリンピックもスタートしました。そちらも楽しみです。